

ゆずり葉コミュニティ 令和3年度活動計画

「まちづくり計画書」による、 令和3年度事業計画

「まちづくり計画書」中、新規で役割分担が「市民と行政」の項目を市と共に課題解決を図ります。

【基本目標】「ふれあいと助け合いで安心して暮らせるまちづくり」



①「宝塚市コミュニティスクール」(学校運営協議会制度)を設立し、学校、保護者、地域が一体

となった子どもたちの教育に関わっていく。

②犯罪抑止(空き巣等)のための防犯カメラの増設。

③「ゆずり葉

コミュニティ」で仮称「防災対策委員会」を設置し、



各自治会での防災の取り組みの意見共有の場をつくる。また、地区防災計画を視野にいれて検討する。(各自治会の避難ルート、避難所等の整理)

【基本目標】「安全、安心、便利な『まちづくり』」

④県道明石神戸宝塚線の騒音対策(速度制限や看板の設置、警察官の配置等)について、現状や課題等の把握、検討を行政に働きかける。

また、同線は、サイクリング車の「タイムトライアル許可道路」になっており、バスや車の渋滞に加え、サイクリング車のマナーの悪化による交通事故の危険性と対策を行政に働きかける。

⑤逆瀬台1丁目のファミリーマートと逆瀬川マンションに隣接する道路の角地の安全対策について、現状や課題等の把握、検討を行政に働きかける。



【基本目標】「美しい、緑と街並みを培うまちづくり」

⑥空き家の放置、環境悪化が問題となった際に各自治会から市に連絡し、所ユーザーに草刈り等の連絡調整をしてもらう。

⑦公園及び街中をきれいにし、緑化につとめ、花でいっぱい美しいまちづくりをする。

なお「まちづくり計画書」の中で既に今までの課題解決のための交渉を行ってきた項目についても、継続審議をしていく。(石谷)

●(活動事例)●

①「白瀬川にホタルを育てる会活動」

私たちが暮らす逆瀬台小学校区は阪神間の背骨とも云われる六甲山脈の一番東の端に位置し緑の森と豊かな自然の懐に囲まれ、南には日本を代表する宝塚ゴルフ倶楽部のみどり豊かなコースと遙か彼方に大阪市内生駒葛城の連山を見渡せる高台に在り、地域内には小・中学校に二つの県立高校を抱える県内でも有数の文教市街地です。

ゴルフ場を挟んで県道沿いに美しいマンション群の中央を流れる白瀬川は行者山を水源にした清らかなせせらぎには季節ごとに野鳥の訪れる自然豊かなエリアです。

私たちは更に地域住民に親しみ愛され素敵で憩える「せせらぎ」にしたい思いから、仮称「白瀬川に蛍を育もう会」を立ち上げて活動しています。

歴史的に振り返れば過去10年近く前から蛍の放流活動を行い、当時の河川課に河原の除草作業時期を「蛍の幼虫が孵化する間」ずらす要望を提案した結果、徐々にではありますが蛍の個体数も増え近隣から「ホタル観賞」に訪れる人々も増えています。

最近では温暖化が原因なのか渇水と大雨の影響で餌になる「カワナナ」が減少し同時にホタルの個体数も減少したため、昨年は初めて蛍の餌になる「カワナナ」の採取に有馬富士公園周辺に出かけました、年々農業エリアの環境も変化して蛍の餌になるカワナナも減少の一途をたどり結果的には各地の蛍も激減しています。今後



も継続的に白瀬川にホタルを育て愛しみ、ゆずり葉コミュニティに住まれる皆様方に初夏の楽しみとして鑑賞いただくと同時に白瀬川のせせらぎが次世代の若者にとつても故郷の清き「せせらぎ」として親しんで頂ければ幸いですと考えています。なお「白瀬川にホタルを育てる会」では賛同される多くの方々には仲間を育てたいと思っています。

ご興味のある方は逆瀬川グリーンハイツ、「白瀬川にホタルを育てる会」代表 濱崎史孝 (☎090・9093・1548) までご一報いただければ幸いです。

なお今年度の事業計画などは5月中旬に予定しています。

②パークマンション宝塚高校側 斜面地補修に関する交渉経緯

当逆瀬川パークマンションの西側斜面地は、土砂災害特別警戒区域に指定されています。近年ゲリラ豪雨や、線状降水帯にて、壊滅的な水害や災害が各地で発生した場合、4〜5階部分まで被害が及ぶような地形になっています。こういった被害が起こらない様管理組合と自治会の二人三脚で解決策を検討しました。

斜面地は、県立宝塚高校の敷地で県の管轄で斜面とマンション敷地の間に巾1.2m、深さ1.5m程のコンクリートの側溝があり、雨水等流すため山の上から下の白瀬川まで斜面に沿って続いています。

この側溝は宝塚市の管轄で、市と県の両方の調整が必要です。

そこで市の上下水道局と宝塚高校に事情を説明し、災害が起きない様、工事の陳情をしました。市からは、県の斜面地の工事が完了したのち、亀裂箇所のある側溝の工事を行うとの回答を頂きました。

県の方へは、高校の敷地であるため、宝塚高校の事務長から教育委員会、そして県の方への働きかけをお願いしました。

現状は、斜面地の地質調査も済み、4月からの新年度予算にも計上されたとのこととです。

また、工事については、3つの設計案が出来ていて、県の砂防課にて、そのいずれかの検討をする協議が4月中に行われ、その後工事概要等、判り次第連絡頂けることになっています。

逆瀬川パークマンション自治会 沖田信幸

③令和3年度も 福祉ネットワーク会議を開催します。

福祉ネットワーク会議は、地域の福祉課題、特に社会的に支援を必要とする方々(高齢者、障害者、児童など)の生活課題に焦点を当て、地域住民と福祉・保健・医療の関係者が連携をとり、誰もが住み慣れた地域で自立した生活を送るためには、どうすればよいかを考えていく会議です。

令和2年度は、10月に開催し、「見守り」についてワークショップ形式で行いました。昨年の成果を更に深堀りして、今年も開催する予定です。予定が決まりましたら、ご案内をさせていただきます。



④光が丘「畑の玉ねぎさん」

光が丘「美咲喜会」・「花と緑の会」主催。毎年恒例の「春楽会」をコロナ禍の為、「畑の玉ねぎさん」と簡略化し、5月14日(土)に収穫した玉ねぎを、15日(日)に住民の方達に配布なさいました。

「美咲喜会」松田会長は「今年は玉ねぎは豊作でした。次は、イモを植えます。」と楽しそうにお話し下さいました。(一)

